

くまもと水プログラム ご案内

- ・プログラムの申し込み・空き照会・仮予約については
(別紙 申込書・問い合わせシートを活用連絡ください。)

株式会社社会社カッセジャパン 担当 松本

TEL 096-300-5935 FAX 096-355-1296

E-MAIL : matsumoto-mari@kyusanko.co.jp

プログラム内容についての問い合わせについて

教育旅行ワン・ストップ窓口 (熊本県 観光振興課 国内観光班内)

TEL: 096-333-2335 E-MAIL : kuma-kyoryo@kumakanren.or.jp

くまもと水プログラム

未来につなぐ水の話～くまもとプロジェクト～

◆概要

「水の国くまもと」での取組みを学び、
日本・世界・地球の水問題を考えるプログラム



◆ストーリー

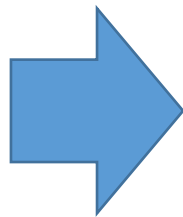
生きていくために欠かせない「水」。しかし、世界では水不足のため、必要最低限の水が確保できない地域が多数あります。

一方、熊本では約100万人もの人が、ミネラル分をたくさん含んだ地下水の恩恵を受け生活しています。かけがえのない地下水を守っていくために、行政・民間企業・団体が様々な取組みを行っています。その取組みを通じて、地下水の仕組み、水資源の保全、そして世界・地球の水問題について考えてみましょう。

◆学習の流れ

事前学習

ワークブック、
などを活用し熊本を
探求



くまもとで実施

講話＋フィールドワーク



事後学習

学んだことを
まとめ、共有



くまもと水プログラム

講話 + フィールドワークにて実施

講話 (60~90分)

- ・地下水の成り立ち
- ・企業の涵養への取組等
- ・世界・地球の水環境を学ぶ

※世界の水飲み比べ実験または水に関するクイズ
(リアル講話・オンライン講話 時対応可)

熊本では座学でなくフィールドワーク中心にしたい。

フィールドワーク (約60~120分)

- 阿蘇グリーンストック (草原再生の取り組み)
- 日本リモナイト (ブラタモリで紹介)
- 白川水源と湧水地区 & トロッコ列車 (南阿蘇村)
- 世界かんがい施設遺産 (大津町・菊陽町)
- 世界かんがい施設遺産 (山都町)
- ビッグバイオ (BB菌で水浄化)
- 生協くまもと (防災井戸、マンホールトイレ)

サントリー (阿蘇の水) ※休館中

- ・ ON LINE
 - ・ YOUTUBE動画配
 - ・ DVD
- 講話対応可

くまもと水プログラム

事前学習・事後学習に使える ワークブック

様々な企業、団体の取り組みを紹介していますので、生徒さん自身の キャリア学習 にもつなげることができます。

SDG s のどの項目に該当するか一目瞭然

見本



水に関する活動内容を紹介

企業の代表・担当者から生徒の皆さんへのメッセージ

【掲載企業】

- ・サントリー
- ・日本リモナイト
- ・ビッグバイオ
- ・生協くまもと
- ・富士フィルム
- ・ホンダ

くまもと水プログラム

教員用指導解説書付き

※熊本教育旅行サイト資料ダウンロードよりご活用ください。

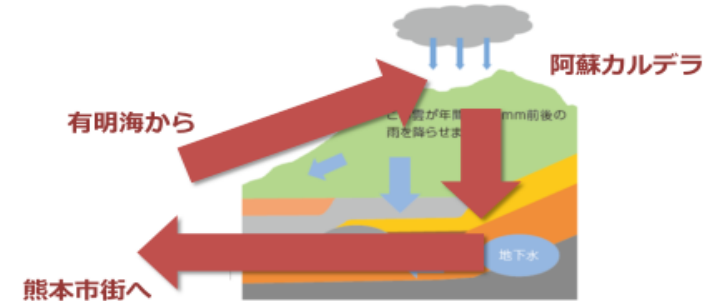
https://kumamoto.guide/shugaku/files/DocumentFile/0/DocumentFile_803_file.pdf

熊本×探究
～地域の成り立ちを考えて
SDGsを見つめよう～
【教師用指導解説書】

学習の流れ 詳細 (P.9～10)

③ 熊本県の「水」の説明を読む

「火の国」と同じく熊本は「水の国」とも言われます。これは阿蘇カルデラに降り注ぐ雨が地下水となって、豊富な水の恩恵を人々に与えるからです。



熊本県の「水」の恵みとしては、生活用水や農業用水として利用される湧き水があります。また、畏れられるものとしては「水害」がありますが、この地を治めていた加藤清正が行った治水事業は今も姿を残し、現代の人々にも恩恵を与えています。

④ 10ページを使って「水」のイメージを掘り下げる

「探究ワーク6」では、水のイメージを＋面と－面に分けて挙げてみてください。挙げてから分類するのももちろんOKです。その際にはポストイットなどを使うと良いでしょう。
(例) + : 風呂、飲み水、栽培 - : 川の氾濫、大雨
(事後学習) 実際に見てきたものを整理してみましょう

さらに、「探究ワーク7」で13ページ以降で紹介している探究スポットの中から「水」を感じるものを取り上げ、「氷山の一角」モデルで掘り下げてみましょう。

(事後学習) 3エリアで訪れたスポットをそれぞれ書き込み、水の流れを考えます。これにより水の循環がより具体的にイメージすることができます。